

The passing
—変わりゆくものたち—
大竹寛子 展

【会期】 4月24日(水)～4月29日(月)
10時～19時 ※最終日は17時閉場
【会場】 日本橋三越本店 本館6F 美術特選画廊
中央区日本橋室町1-4-1
☎03(3241)3311



「Spiral -flowers and butterfly- vol.3」 20号S



おおたけ・ひろこ

2011年東京藝術大学大学院美術研究科
博士後期課程日本画研究領域修了(美術
研究博士号取得)。15～16年文化庁新進
芸術家海外派遣制度でニューヨークで研
究。国内外で個展・グループ展多数。



「Spring vol.20」 20号



「A bubble -butterflies- vol.5」 20号S

文化庁新進芸術家海外派遣制度でニ
ューヨークで研修し、2016年に帰国
した大竹寛子。岩絵具や箔、銀泥といっ
た日本画材の美しさを生かした表現の幅
を拡げており、その作品はいま国内外で
高い評価を得ている。

左に掲出した「Beauty in imperfec-
tion」というシリーズは「不完全な美」
という意味だが、描いた画面を化学変化
させることによって焼けたような色合
いが生まれている。自然の力を取り入
れながら、コント

ロールしきれない
不完全さや曖昧さ
から独特の魅力が
立ち上がってくる。



「Beauty in imperfection -Rose- vol.1」 10号

今展では水彩画やワインを使ったド
ロ잉ング、鏡の裏側から銀と銅を腐食
させて描いた作品など様々なスタイル
の作品が展示される。大竹は一貫して
コンセプトを重視した制作を続けてお
り、「The Passing—変わりゆくものた
ち—」というタイトルがそれを表してい
る。消滅と生成を繰り返しながら、常に
流動的に変化し続けていく生命のダイ
ナミックな美しさ、その瞬間を捉えたと
きに気づく、静かで儂い魂の輝き。夜空
に煌めく無数の星のようにある身近な
感動と、森羅万象のダイナミックな流転
が表裏一体となった、大竹の世界観を感
じて欲しい。

(編集部)